



～愛を込めて～

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

## The 387th Subscription Concert

### 広島交響楽団第387回定期演奏会

# 2019. 2. 6 水

18:45開演(17:45開場)

Wed Feb 6 2019 Start 18:45 (Open 17:45)

### 広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮：下野 竜也

メゾ・ソプラノ：藤村 実穂子



Tatsuya Shimono

フンパーディンク

### 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲

Humperdinck : Hänsel und Gretel, Prelude

ワグナー(モットル編曲)

### ヴェーゼンドンクの5つの詩

Wagner (orch. Motil) : Wesendonck Lieder, WWV91

リヒャルト・シュトラウス

### メタモルフォーゼン(23独奏弦楽器のための習作)

Richard Strauss : Metamorphosen (Study for 23 solo strings), TrV290

フンパーディンク

### 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」パントマイム

Humperdinck : Hänsel und Gretel, Pantomime

Concertmaster / 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)

(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

### プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド

福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場

ローソンチケット(Lコード:61871)・チケットぴあ(Pコード:105-417)

中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売


チケット発売日 | 2018年12月6日(木)



Mihoko Fujimura

©R&G Photography

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会

プレミアム協賛 /  西広島開発株式会社

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、  
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。



お問い合わせ 広響事務局 TEL : 082-532-3080

広響公式ホームページ ▲  
HP : <http://hirokyo.or.jp>

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

The 387th Subscription Concert

## 藤村実穂子を招いて

総監督の下野が指揮する年度最後の定期は藤村実穂子を招く。共演曲はワーグナーのヴェーゼンドンク歌曲集だ。それにしても近年の広響定期には世界でもトップクラスと言える有数のソリストがこぞって出演するようになった。それだけ広響の実力が評価されてきた証でもあるが、加えて下野の人脈も影響しているのだろう。

今回の「下野企画」は藤村との共演曲を中心に構成し、際立たせた選曲が惜い。フンパーディンクも、リヒャルト・シュトラウスも、ワーグナーゆかりの作曲家であり、かつ年間のテーマとした“愛”をしっかりと表現している。あえて文字で表現するならば兄弟愛や人間愛といったところか。



指揮  
下野 竜也

Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)  
1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



メゾ・ソプラノ  
藤村 実穂子

Mezzo - soprano / Mihoko Fujimura

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修了後、ミュンヘン音楽大学大学院に留学。「現在最高のメゾ」などと絶賛を浴びながら、世界各国で引手あまたの大活躍をしている。

主役級としては日本人で初めてパイロイト音楽祭にデビュー。9年間連続で出演し、「この20年間のワーグナー界に存在しなかった歌手」などと絶賛を浴びる。ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、ミュンヘン国立歌劇場など世界の名だたる歌劇場に出演し続けている。

ティーレマン、アバド、メータ、ルイーゼ、ネゼ＝セガン等の著名指揮者や、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管等の一流オーケストラと共演を重ねている。

また、ブランゲーネ役でドミンゴ、パッパーノとCD「トリスタンとイゾルデ」(EMI)をリリースし、各方面より注目を浴びた。

日本では新国立劇場での「ラインの黄金」(フリッカ)でデビューし、数々のオペラに出演するほか、N響の「第九」ソリストや歌曲リサイタルなどで絶賛を浴びる。2002年出光音楽賞、2003年第54回芸術選奨文部科学大臣新人賞、2007年第37回エクソンモービル音楽賞洋楽部門奨励賞、第44回(2012年度)サントリー音楽賞をそれぞれ受賞。

公式ホームページ <http://www.MihokoFujimura.com>

2019  
3/3 (日)

## 広島交響楽団 第388回定期演奏会

広島文化学園HBGホール 15:00開演(14:00開場)

ドヴォルザーク  
Dvořák

序曲「オテロ」  
Othello, Overture, op.93

チャイコフスキー  
Tchaikovsky

ヴァイオリン協奏曲ニ長調  
Violin Concerto in D major, op.35

スメタナ(ジョージ・セル編曲)  
Smetana (orch. George Szell)

弦楽四重奏曲ホ短調「わが生涯より」(オーケストラ版)  
String Quartet No.1 in E minor "From My Life"



指揮：チャールズ・オリヴィエリ＝モンロー  
Conductor : Charles Olivieri-Munroe



ヴァイオリン：青木 尚佳  
Violin : Naoka Aoki